

システムの特徴

- ✓ システムの利用者が4,500名
- ✓ 工事管理システムの中核として利用
- ✓ 多数の関連システムと連携

システム導入の狙い

- ✓ 工事計画/ルーティング業務の生産性を向上するデジタル化とPDCAサイクルの実現
- ✓ 管理者とエンジニア間のコミュニケーションをデジタルチャネル(モバイルアプリ)で効率化
- ✓ 作業指示内容の最適化及び作業計画の精緻化により、工事計画と実績の乖離を抑制

システムイメージ

- ✓ 工事計画/ルーティング業務の生産性を向上するデジタル化とPDCAサイクルの実現
- ✓ 管理者とエンジニア間のコミュニケーションをデジタルチャネル(モバイルアプリ)で効率化



工事生産性を向上するデジタル化とPDCAサイクルの実現



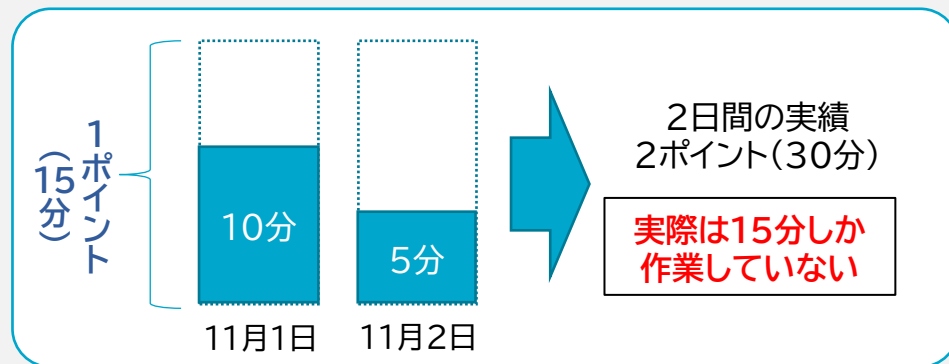
システムイメージ

✓ 作業指示内容の最適化及び作業計画の精緻化により、工事計画と実績の乖離を抑制

As-Isの課題

工事時間の予測値と実態の乖離

- 工事は15分を最小とするポイント単位で管理
- 作業計画では複数の作業を組み合わせて定義し、ポイントを積み上げて算出



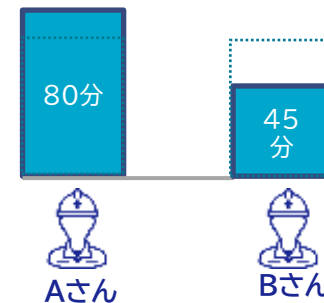
To-Beイメージ

予定作業時間と実作業時間の乖離を低減

- エンジニアの実績から作業効率を算出
- エンジニア毎の効率を作業時間予測に反映

予測の正確性

例)TV設置
標準作業時間60分

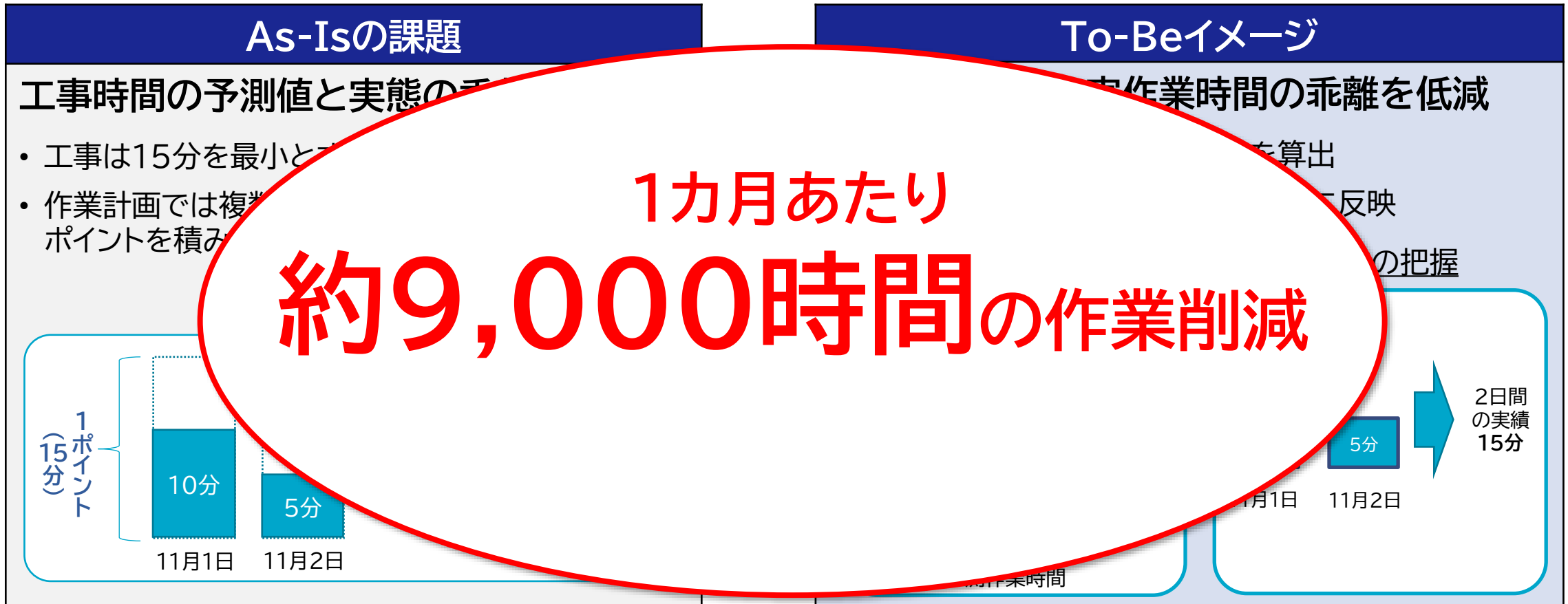


実作業の把握

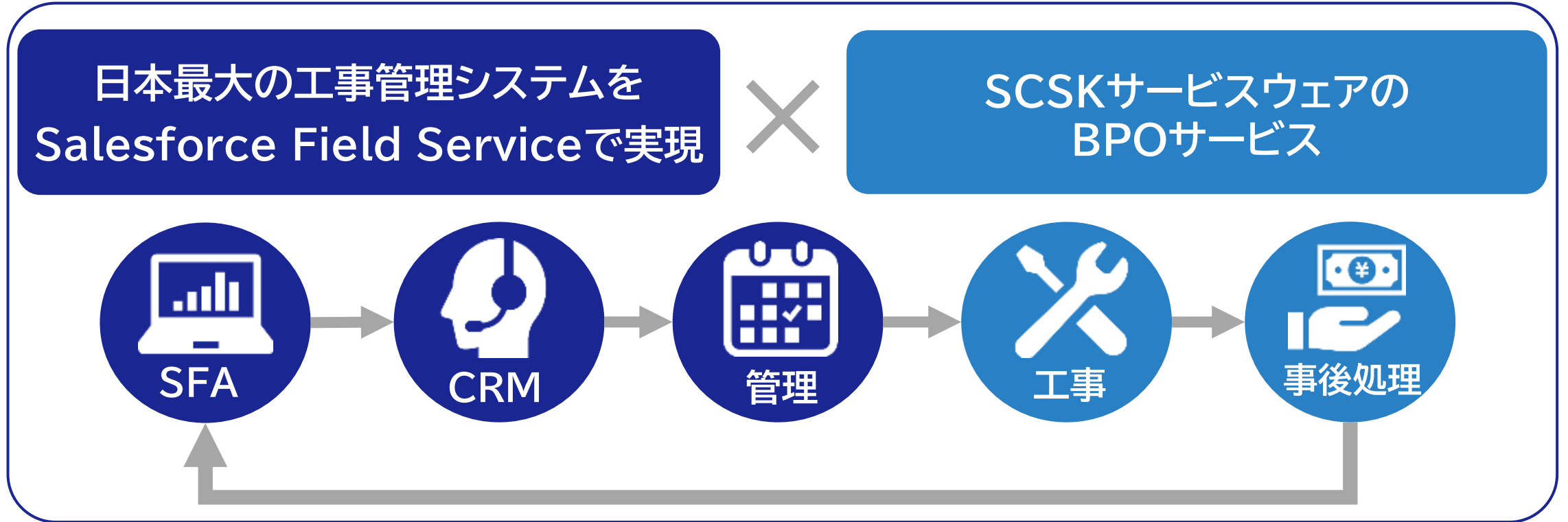


システムイメージ

- ✓ 作業指示内容の最適化及び作業計画の精緻化により、工事計画と実績の乖離を抑制



工事計画、エンジニア自動アサインなど一連の業務をSalesforce Field Serviceを用いて実現



BPM※型の保守統合サービス

※Business Process Modernization